美容師のお仕事

Work of the beautician

金澤 ゆかり

青山ライフ出版

まえがき

みなさん、こ・ん・に・ち・は。
美容師の世界へようこそ。
今回担当させていただくことになりました金澤ゆかりと言います。どうぞよろしくお願いします。(笑)
美容師歴は29年で、ヘアーロマンドKをやりだして14年が過ぎてしまいました。そして自分達のお店も完成し、とてもありがたく思っています。
美容の世界は奥が深く、休みの日やナイトセミナーに参加して、髪の勉強に行くようにしています。すごい先生方にお会いし新しい技術を習得して行かないと、美容業界から取り残されていく時代になってしまいました。
全国で美容室の数が23万件で、コンビニは全国で5万件、電柱の数より美容室の件数が多い時代の到来です。25年前の美容室では、カラーは暗い白髪染めばかりで、今みたいな明るい白髪染めといったメニューはなく、おしゃれ染めをするお客様もほとんどありませんでした。昔は、カラーチャート（色見本）通りの明るさが出せず、とても苦労していましたが、ここ数年で美容業界もかなり進歩し良くなっています。このあわただしい時代の中で皆様により美しくなって頂くために、美容師さん達は努力をおしまず頑張っているのです。美容師の世界を皆さんにご紹介する事で、今まで聞けなかった事や、不思議に思っていたこと、カラーやパーマは「いっぱい種類がありすぎてどれが私の髪にいいの」と悩んだことはないでしょうか。今まで髪の毛の取扱説明書がなかったので、分かりにくかったでしょうが、この本を読んでもらうと分かりやすくなります。

それと、お店にご来店頂いたお客様が、自分の髪の毛を傷めてご来店されるケースが非常に多かったので、知識を得て日常生活に取り入れてもらい、皆さまの髪を良くしたいと考え美容師さんの内情を本にする事にしました。
あまり知られていないことですが、白髪は遺伝や老化だとあきらめている人が多いでしょうが、そうではなかったということもお知らせしたかったのです。私達のお店のお客様には、白髪を減らしていただけるようにアドバイスさせていただいてます。ほとんどの方が半年から1年位かかりますが、良くなられています。薄毛は病院や高い専門機関に行かなくても、理、美容室で治せる時代がやってきたのです。
自分の日々の行動や、生活習慣、食事のとり方、運動、髪の洗い方、ご自身の努力も必要ですが、改善することが出来るのです。
これからどんどん消費税が上がってきます。
自己負担が大きくなる一方で、髪は低料金で治したいと思われる方、ぜひこの本を読んで参考にしてください。髪の毛は体の一部なので体からもいろいろとアドバイスさせてもらっています。一人でも多くの方が髪を改善し、笑顔になってもらえたら幸いです。
ためになる話ばかりなので、よろしければ最後までお付き合いください。

まえがき

もくじ

第4章　体を知るという事　63

第1章 美容室での主なお仕事

髪の毛をシャンプーするお仕事

皆さん、美容師さんというとどんなイメージをお持ちでしょうか。この間友達に「美容師って派手そうなイメージがあるのに、地味な仕事やなー」って言われました。確かに休みは少なく営業時間は長く、大変なお仕事なので、その様に言われたのでしょう。美容師さんは、**皆様をきれいにすることに努力を惜しまない人種です。**

美容室にご来店いただいて、荷物やコートなどをお預かりして一番にさせていただく仕事がシャンプーです。洗い残しがあると薬剤の反応が悪くなってしまうので、しっかりシャンプーで髪の汚れを落とすようにしています。シャンプーをする時は、シャンプーボウルの横に立ち縦に手を動かします。動作は慣れないと難しいので、**1か月ぐらいスタッフの頭を借りて練習し、出来るようになります。**

私が見習いの頃は、サイドシャンプーしかなかったので仕事が忙しくなると腰に負担がかかり、シャンプーする大勢がきつくなる時がありました。今はバックシャンプーが導入してある美容室も多く、シャンプーする大勢が楽になってきています。

皆さん美容室の中で、一番シャンプーが気持ちいい時間だと言って下さいます。

髪の毛をカットするお仕事

カットを見ていく前に、まず髪の毛は何のためにあるのか見ていきましょう

髪の毛には**3つの「機能」**があるといわれています。

1つ目は、**「保護機能」**
生まれた時から生えていることから、髪の毛は**体の保護、保温、触覚**だと言われています。
髪の毛は頭をいろんな衝撃から守ってくれるクッションの役目をしています。**直射日光や暑さや寒さ**から守ってくれているのです。

2つ目は、**「排泄機能」**
髪の毛は、私達が食べて必要ない物や**水銀、ヒ素、鉛**などを毛髪中に取り込み、**体の外に排泄する、**という役目を持っています。

3つ目は、**「コミュニケーション機能」**
ヘアースタイルを変える事で、**自分の個性を強調したり、感情や心情を表現したり、他人と違いを表現したり、**